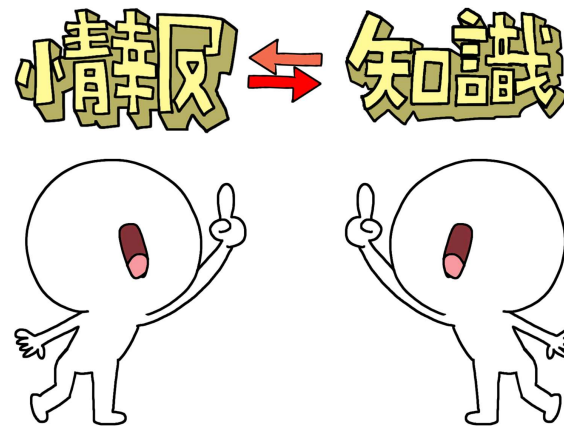


一般社団法人東京電機大学校友会 「でん☆ふぁみ」始動！

～女性ネットワークから切り拓く卒業生実践知の活用プロジェクト～



2024年6月1日

一般社団法人東京電機大学校友会

発起人代表：竹川 一枝

事務局：会勢拡張担当

1. 新ネットワーク「でん☆ふぁみ」創設にあたって
2. ネットワークの目的～女性からスタートし全校友へ
3. 「でん☆ふぁみ」の事業構想（今後の目標）
4. スタートは女性を対象とした支援ネットワークから
5. 運営ルール原則

電大ファミリー



1. 新ネットワーク「でん☆ふぁみ」創設にあたって

今から10年以上前、北千住移転後の新キャンパスで開催されたホームカミングデーに参加したところ、女性参加者の姿が少なく、さらに10年前の時に会った20代の後輩と話したことをきっかけに、電大OG会を作りました。

今も昔も理系女子はどこにいても少数派になりがちですから、母校の中に気軽に雑談できる相手を見つけられる場所があれば悩める後輩の役に立てるかもしれない。

そんな思いが仲間と一緒に「伝説の場所【OGカフェ】」の構想に繋がっていき、手探りで行動するうちに、SNS上、Web上で徐々に実現してきました。

今回、全ての卒業生、大学だけではなく「技術は人なり」の心を共有できる全ての学園卒業生を、一つの「電大ファミリー」として、ある時は人生の分岐点、ある時は周囲が見えにくくなった環境下、モヤモヤした愚痴や悩みが鬱積している時、気兼ねなく話を聞いてあげられる場があればと夢が広がる機会が訪れたのだと思っています。

スタートは女性中心に進めますが、合言葉は「全ての卒業生がロールモデル」の通り、校友が先輩として後輩や在校生の相談に乗る、全ての卒業生が持ち合わせる経験＝実践知を共有する、ひいてはそれぞれの実践知が母校の専門知と融合し新たな知を創造するなど、このプロジェクトは無限の可能性を秘めていると考えます。是非、皆さんも気軽に、そして出来る範囲で「でん☆ふぁみ」に参画・ご協力頂ければ幸いです。

女性のハードワークは不妊や流産を招くこともあるし、産もうと思った時に都合よく妊娠できるとは限らないってことを学校じゃ教えてくれないよね

自分の病気や親の介護で働き方を変える人もいるよね…

この先にどんな人生が待っているのか、いろんなパターンが具体的に見えたらいいのに

アラフォーの再就職はリケジョといえども厳しいのが現実だから…

実の母親より他人の先輩の方が相談しやすいこともありそう…

色々苦労してきたから親身に話を聞くのは得意かも…

在学生といろんな世代の卒業生の繋がりが当たり前のようであればいいのに…

※校友会ブログからの抜粋

2. ネットワークの目的～女性からスタートし全校友へ①

(1) 目的

東京電機大学校友会と目的を同じとし、プロジェクト開始時は**女性としての経験値を通じて**、「学校法人東京電機大学と緊密に連携を保持し、その発展に協力し、会員相互の親睦研修と、教育、学術及び文化の発展に寄与すること」を目的とします。基盤が構築され活動実績が蓄積される中で、全ての校友を対象としたネットワークへと進化していきます。

(2) 活動の基本（ルール）

会理念、ビジョン、行動規範に加え、参加者環境に配慮したボランティアとしての自主性を重んじ、自由かつ緩やかな運営を心掛けます。



- ・ ネットワーク活動自体は、卒業生の活躍・進化を含め母校の発展に寄与するものであること。
- ・ 活動は母校を十分理解し母校との連携の上実現していくこと。

- ・ 様々な会員との人脈構築、ノウハウの共有等を通じて、「他者のために自己を磨く」の精神を持ち、年代、職業等にかかわらず参画者が輝き進化を続けること。

- ・ ボランティアとしての自主性を尊重し、参画者の環境に合わせた参画形態を重視すること。
- ・ 地域支部等への加入強制は行わない。自由性尊重。
- ・ 多様性を持ち周囲への配慮を忘れない互惠の組織であること。

2. ネットワークの目的～女性からスタートし全校友へ②

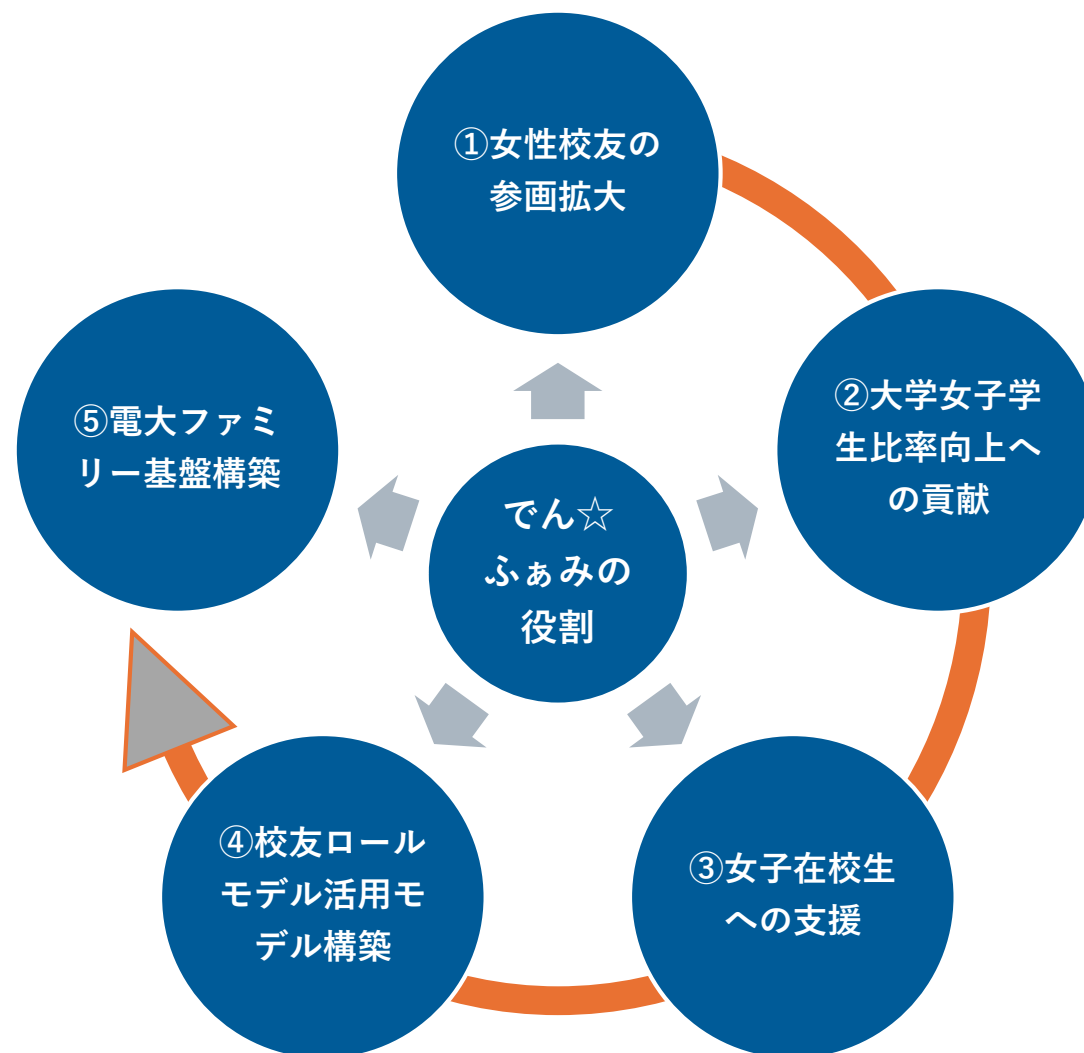
(3) 役割「卒業生のすべてがロールモデル」～校友会に新たな風を吹き込む～

校友会支援、在校生支援、ひいては大学支援に対して自らの社会人経験を活かして、直・間接的に参画することにより、参加者自身が奉仕・貢献によってさらなる人格の陶冶を実感できる仕組みづくりが役割と言えます。

開始時は、まだまだ日本国内において、またTDU自身にとって少数派である理系女子のキャリア支援・各種相談を皮切りに、女性がますます活躍できる環境づくりに挑戦します。

女性を優先するのは、日本のおかれた社会環境、母校支援の側面から女子学生比率向上への貢献が期待できるためですが、その取り組みの中で合言葉として選択した「全ての卒業生がロールモデル（役割・行動の規範）」にある通り、全校友が提供可能な実践知をモデル化し、ALLTDU＝電大ファミリーとしての財産が蓄積されます。構想としては「TDUAA プロボノデータベース」を構築できると考えています。

その中心を担うのが新たなネットワークである「でん☆ふぁみ」の役割と考えています。



3. 「でん☆ふぁみ」の事業構想（夢は大きくBHAG）

卒業生が保有する実践知を共有することで新たな連携や成果を産むだけでなく、大学が持つ専門知との融合を図り教育・研究への貢献だけでなく、新たな知を創造するイノベーション環境が生まれます。

そして、校友が貢献奉仕することで、参画した卒業生の人格の陶冶が向上し、生涯にわたる「技術は人なり」を実現する集団を目指します。

それが電大ファミリー構想です。



女性を対象とした相談、
実践知の共有環境構築

TDUらしい技術は人なりが浸透した
電大ファミリーとしての知の創造環境構築
「実践知と専門知融合によるイノベーション」



モニター・アンケート協力
産学連携、研究支援ファンド等
理系女子の人材育成モデル

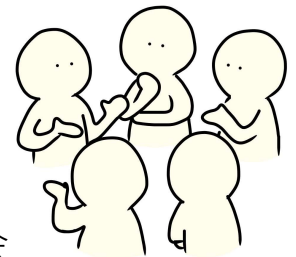
教育・研究への貢献



得意分野での貢献、
参画意識が高い分野での貢献

卒業生全てを対象とした
プロボノ活動基盤への進化

伝説のOGカフェ
テーマ別オンライン会



4. スタートは女性を対象とした支援ネットワークから

学校法人東京電機大学と緊密に連携を保持し、その発展に協力し、
会員相互の親睦研修と、教育、学術及び文化の発展に寄与すること

全ての卒業生がロールモデル～生涯にわたり人格と陶冶を高めるTDUモデルへの昇華
～女性経験での気づきからスタートし、他者を支援する「技術は人なり」の実現～
スタート：「一生続けられる仕事をサポートする」
「学ぶことの素晴らしさ、常に進化する素晴らしさを伝播していく」



女性ニーズ優先
サポートは男女
問わず参画



そして次はTDUらしく「暗黙知化しているもの
を参画者で表出化、そして校友に実践知として
サポートする」仕組み化に昇華する。



職場では、女性だから
頼みやすいこともあり、
TDUで学んだ知識を活
かし効率的な仕組みを
作って喜ばれた。
一方、出産等で好きな
仕事が続けられなく
なったりする知り合い
も多く、自身の能力を
活かし続ける重要性を
痛感した。

手話 きっかけ



LIFE STAGE -Woman-

sample text sample text
sample text sample text sample text
sample text sample text



会社員
office worker



子育て
Childcare

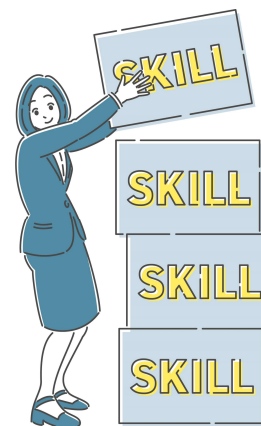


更年期
Menopause



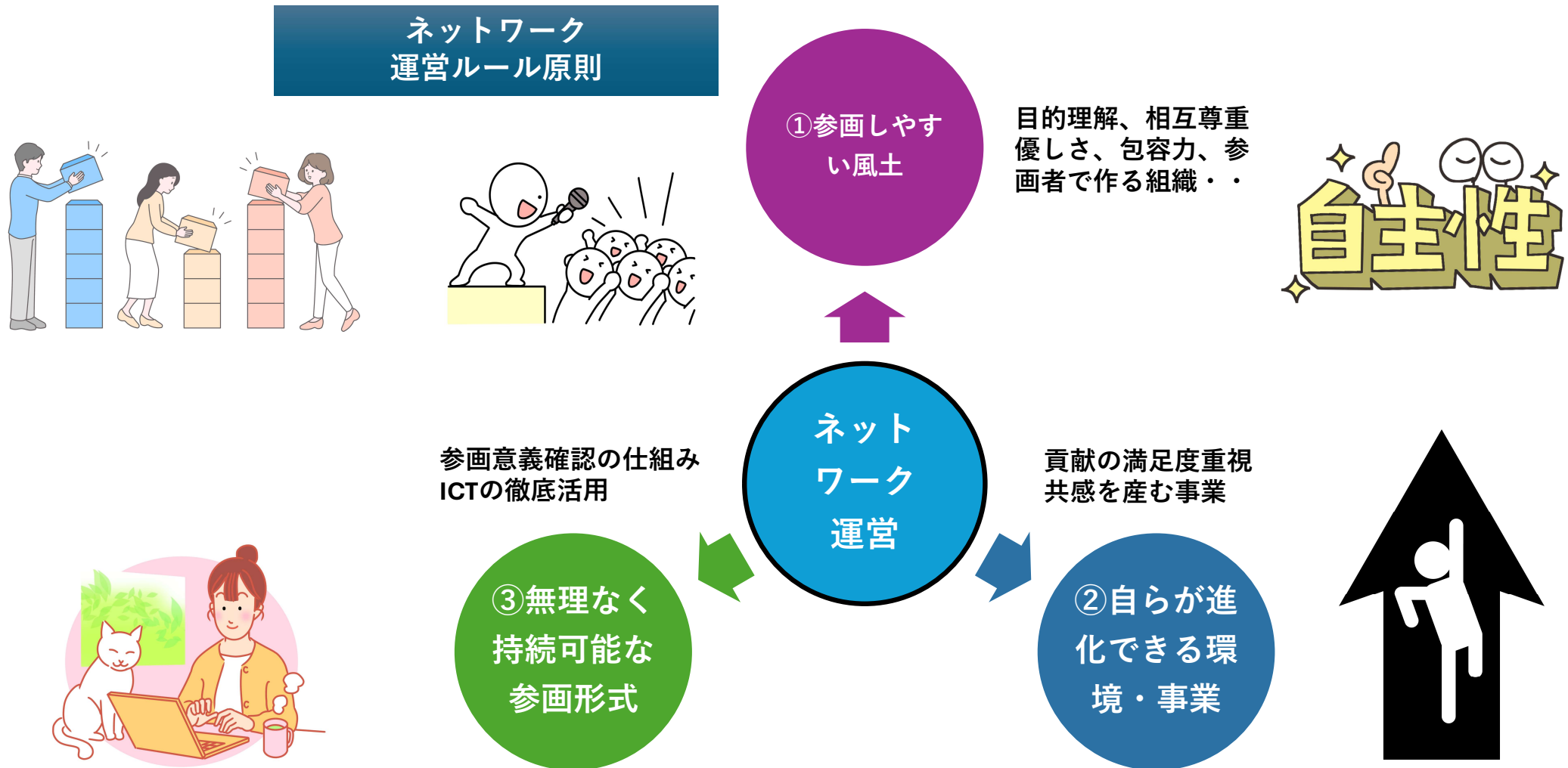
高齢期
old age

重要なのは、「女性が
異なる視点を持つ」こ
とや、車やキッチンの
キャビネットの色の好
みに現れるような「異
なる嗜好」を持つこと
ではなく、社会が女性
に与えた経験を女性自
身がどう生かすかとい
うことです。



5. 運営ルール原則

「走りながら考えるアジャイルな思考」と「着実な一步を踏みしめながら進化していく」ことを目指していきます。





一般社団法人

東京電機大学校友会